

特別支援学校高等部理療科採点基準

2枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 (例)	採 点 上 の 注 意	配 点									
1	1 ア		5									
	2	<table border="1"> <tr> <td>経穴名</td> <td>内関穴</td> </tr> <tr> <td>奇経八脈名</td> <td>陰維脈</td> </tr> </table>	経穴名	内関穴	奇経八脈名	陰維脈	内関 もよい。 各5×2					
	経穴名	内関穴										
奇経八脈名	陰維脈											
3	1尺9寸	十九寸, 19寸 もよい。	5									
2	1	<table border="1"> <tr> <td>部の名称</td> <td>中脳</td> </tr> <tr> <td>関与する運動</td> <td>骨格筋の意識にのぼらない協調的な運動。</td> </tr> </table>	部の名称	中脳	関与する運動	骨格筋の意識にのぼらない協調的な運動。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	3 5				
	部の名称	中脳										
	関与する運動	骨格筋の意識にのぼらない協調的な運動。										
	2	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>支配神経</td> <td>部の名称</td> </tr> <tr> <td>咀嚼筋</td> <td>下顎神経</td> <td>橋</td> </tr> <tr> <td>胸鎖乳突筋</td> <td>副神経</td> <td>頸髄</td> </tr> </table>		支配神経	部の名称	咀嚼筋	下顎神経	橋	胸鎖乳突筋	副神経	頸髄	下顎神経は、三叉神経第3枝、第V脳神経第3枝 もよい。 副神経は、第XI脳神経 もよい。
	支配神経	部の名称										
咀嚼筋	下顎神経	橋										
胸鎖乳突筋	副神経	頸髄										
3	<table border="1"> <tr> <td>説明</td> <td>日差しが強く明るいところでは瞳孔が縮んで入射光を減少させる。</td> </tr> <tr> <td>部の名称</td> <td>中脳</td> </tr> </table>	説明	日差しが強く明るいところでは瞳孔が縮んで入射光を減少させる。	部の名称	中脳	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	5 3					
説明	日差しが強く明るいところでは瞳孔が縮んで入射光を減少させる。											
部の名称	中脳											
3	1 ハンス・セリエ	セリエ もよい。	5									
3	2	副腎皮質の肥大 胸腺、リンパ系の萎縮 胃、十二指腸の潰瘍	順序は問わない。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各4×3								
	3	ストレッサーを受けた生体は、視床下部にある自律神経の中樞が興奮を起し、交感神経を通じて副腎髄質に作用が及び、ここからアドレナリンが分泌され交感神経の分布している内臓血管などが刺激される。このことを受け、下垂体の前葉に作用が及び前葉からの副腎皮質刺激ホルモンの分泌を促す。副腎皮質刺激ホルモンは、その標的器官である副腎皮質の活動を促し、副腎皮質ホルモン、特に糖質代謝に関係するステロイドホルモンの分泌を促進し、刺激に対する身体の体制が整う。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	12								
	4	多様な理療関連業務を理解するための施設見学や生徒の進路希望に対応した実習ができるように計画すること。 施術所経営に関する実際的な基礎的知識が養われるように、臨床経験の豊富な人の話や施術所見学、模擬経営実習などを通して、具体的に指導すること。	順序は問わない。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各6×2								
5	関係法令は、「医療法第3条」及び、「あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等に関する法律第7条」である。 「医療法第3条」により、「クリニック」は、病院、診療所等と紛らわしい名称を付けてはならないと規定されていることから使用できない。 「あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等に関する法律第7条」により、「広島県立広島中央特別支援学校高等部専攻科理療科修了」「劇的に改善」は施術者の技能・経歴にあたるため使用できない。また、「ぎっくり腰、むちうち、便秘」、「夜泣き、疳の虫」は疾患名で、広告の制限事項であるため使用できない。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	20									

特別支援学校高等部理療科採点基準

2枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点
6	1 冠動脈の閉塞	内容を正しくとらえていれば、表現は異な っていてもよい。	5
	2 高血圧症 高コレステロール血症 喫煙 糖尿病	順序は問わない。 内容を正しくとらえていれば、表現は異な っていてもよい。	各 3 × 4
	3 発作時間 30分以上持続する。 心電図所見 経過を追ううちにST上昇、T波陰性 化、異常Q波、冠性T波の順で異常所見が 出現する。 血液検査 白血球数、CK、ミオグロビン、ミオシ ン軽鎖、心筋トロポニンT、AST、LD Hが上昇する。	内容を正しくとらえていれば、表現は異な っていてもよい。	各 5 × 3
7	1 位置 第9胸椎 形態 7葉からなる形態	内容を正しくとらえていれば、表現は異な っていてもよい。	各 5 × 2
	2 ・外界からの病因や体内の有害物を防御・排除する。 ・筋を主る。 ・蔵血作用 ・硫酸作用	3つ書かれていればよい。 内容を正しくとらえていれば、表現は異な っていてもよい。	各 3 × 3
8	1 筋肉名 棘下筋 小円筋 支配神経名 肩甲上神経 腋窩神経	順序は問わない。 筋肉名と支配神経名がともに合っている ものだけを正答とする。	各 6 × 2
	2 テスト名 ドーバーンテスト 疾患名 ・三角筋下滑液包損傷 ・肩峰下滑液包炎 ・肩回旋筋腱板損傷	内容を正しくとらえていれば、表現は異な っていてもよい。 1つ書かれていればよい。 内容を正しくとらえていれば、表現は異な っていてもよい。	各 4 × 2
	3 まず、コッドマン体操の方法について指導する。コッド マン体操は、患側の手にアイロンなどのおもりを持ち、体 を前屈し、上肢を脱力させ、前後左右に揺さぶりながら、 振り子様に運動する方法で、肩関節の拘縮予防と可動域を 改善するために行うものである。 次に、「3か月ぐらい前から」、「夜間痛み」などの記述 から、急性期であることを指導する。急性期では、体操を 過度に行くと患部を悪化させる恐れがある。そのため、痛 みを生じない程度で動かすこと、脱力した状態で行うこ と、毎日短時間継続することを指導する。 また、患者へ説明する際には、実際に動きを行って示す こと、あるいは行わせてみるように指導する。合わせて、 患者が理解しやすいように専門用語を多用しない、あるい は必ず平易な用語に言い換えるように指導する。	内容を正しくとらえていれば、表現は異な っていてもよい。	20